

多職種連携ネットワーク（MCS）への参加について

1. 本区のMCSへの参加

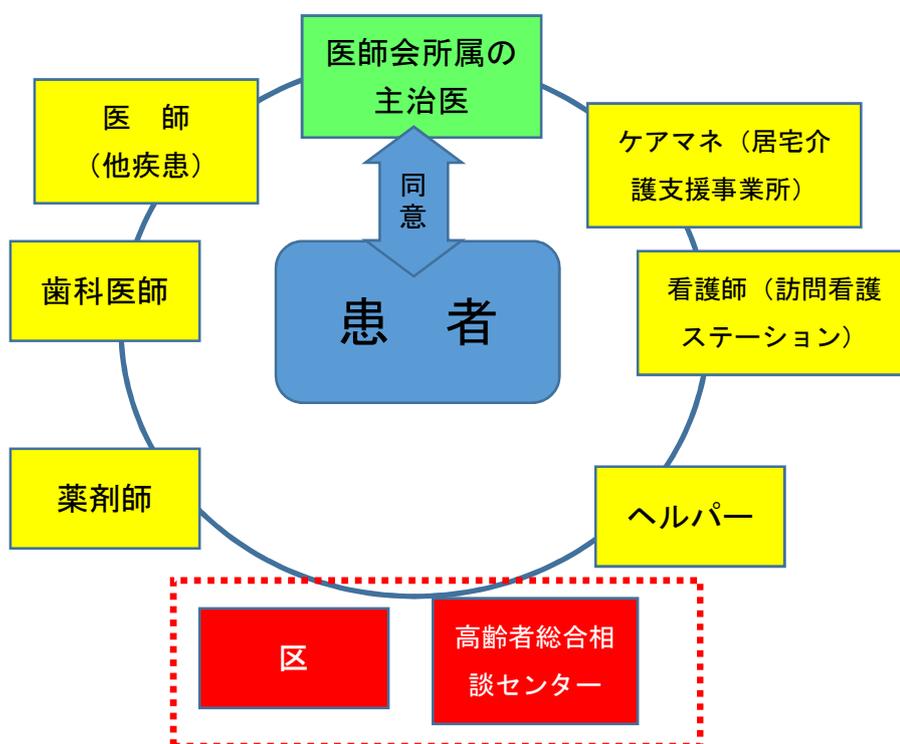
豊島区では、豊島区医師会が中心となり、平成25年度から、区内の医療事業者・介護事業者が連携するためのツールとしてMCS（メディカルケアステーション）を活用しています。本区は、個人情報の取り扱いからこれまで参加していませんでしたが、本年7月の個人情報審議会での承認を受けMCSに参加することとなりました。

2. MCSとは

MCSとは、患者とその医療介護に携わる方を連携するための完全非公開型の医療介護専用SNSです。

主な活用方法としては、医療・介護関係者限定のタイムラインと患者・家族参加タイムラインの2つのタイムラインと掲示板機能があります。

医療・介護関係者限定のタイムラインは、患者を取り巻く医療・介護関係者が参加し、医療や介護に関する必要な情報をやり取りするツールです。



※主治医が、患者の同意を受け患者に関する医療介護関係者を招待し、患者の医療介護に関連する情報をやり取りします。

3. 区内医療事業者・介護事業者におけるMCSの運用状況

(1) 利用状況（令和2年3月末日時点）

ユーザー総数 約1,300人

患者タイムライン数 約2,000人

(2) 参加職種

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、訪問介護、
リハビリ職（PT,OT,ST）、社会福祉士、医療ソーシャルワーカーなどの支
援者

（医師約130人、歯科医師約30人、歯科衛生士約10人、薬剤師50人、看
護師約120人、ケアマネジャー約120人、リハビリ職（ST,PT,OT）約80
人、介護福祉士約80人）

4. 高齢者総合相談センターでのMCSの参加

(1) MCS用の機器

高齢者総合相談センターは、個人情報保護の観点で強化された（※）MCS
専用モバイル端末を用いて参加します。

※MCS専用モバイル端末…クライアント認証（この端末でしかアクセスできない制限）、ウイルス対
策、WiFi接続制限、他のアプリのインストール制限、紛失時の遠隔ロック・内容削除機能など個人情報
保護に特化したMCS専用端末

(2) 参加時期

モバイル調達後参加。（10月頃予定）

5. MCSに参加する区の組織と業務

部 署	事業・業務
保健福祉部高齢者福祉課	認知症初期集中支援事業 高齢者の相談業務、難病事業
池袋保健所健康推進課・長崎健康相 談所	難病事業
高齢者総合相談センター（地域包括 支援センター）	高齢者の相談業務

6. 活用による効果

- (1) 多職種間の連携の迅速化
- (2) 多職種間の連携、情報共有の円滑化
- (3) 個人情報保護の強化
- (4) 発災時の対応